

くまさんだより

日本基督教団 豊橋東田教会
〒440-0055 愛知県豊橋市前畑町 112 ☎0532-54-3435
公式サイト <https://azumada.org/> 武井恵一牧師 080-3428-3200

2019年
11月号

11月17日発行

イラストは全て池谷陽子さんご提供

11月3日 降誕前第八主日礼拝説教

「心から愛する」武井 恵一牧師
ペトロの手紙一 4章7～11節 新約聖書433頁

ペトロの手紙一 4章7～11節

⁷万物の終わりが迫っています。だから、思慮深くふるまい、身を慎んで、よく祈りなさい。⁸何よりもまず、心を込めて愛し合いなさい。愛は多くの罪を覆うからです。⁹不平を言わずにもてなし合いなさい。¹⁰あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。¹¹語る者は、神の言葉を語るにふさわしく語りなさい。奉仕をする人は、神がお与えになった力に応じて奉仕しなさい。それは、すべてのことにおいて、イエス・キリストを通して、神が栄光をお受けになるためです。栄光と力が、世々限りなく神にありますように、アーメン。

今日は永眠者記念日です。例年のように豊橋東田教会に様々な形で関係され、ご奉仕された方々の写真が並べられています。今年は、宇野ハカキ姉が永眠されましたのでその写真も並べました。

多くの方がご存知ですが、宇野 ハカキ姉は1994年から2005年まで11年にわたって豊橋東田教会の長老を務められた方で、ご夫君は豊橋東田教会員の宇野文夫兄でした。宇野ハカキ姉は1924年3月30日に生まれ、2019年6月30日に老人福祉施設引佐愛光園にて永眠されました。95歳でした。今日、永眠者記念礼拝の後、教会の墓地高山霊園にて納骨式をいたします。



今日の礼拝ではこれまで連続講解説教をお話ししてまいりましたペトロの手紙一4章7節から11節をお話いたします。新約聖書433頁上の段7節からです

ペトロの手紙一 4章7～8節

⁷万物の終わりが迫っています。だから、思慮深くふるまい、身を慎んで、よく祈りなさい。⁸何よりもまず、心を込めて愛し合いなさい。愛は多くの罪を覆うからです。

これは、天に召された方たちに対するわたしたちの態度をはっきりと指示しています。



もう一つ、今日与えられたペトロの手紙で、重要な言葉が示されました。キリスト者にとって、「万物の終わり」は、どのように意識され、神様によってどのような変化が与えられると想像されるでしょう。

神様が『愛』であられるのだから、『万物の終わり』は様々なことがあっても『究極的な愛』に向かうのではないのでしょうか。

それは、続く言葉が、4章8節「何よりもまず、心を込めて愛し合いなさい。」と、記されていることからです。そして、先ほど取り上げました言葉にも「愛は多くの罪を覆うからです。」と記されていることに注目しましょう。

実際に私たちキリスト者の多くの方々が様々な出来事の中で、又、色々の混乱や人間同士の争いの中で、後悔しても間に合わない様々な罪を犯します。

そして、その罪の働きは、多くの場合後悔して、謝罪し、「自分が原因であり、心から後悔し、お詫びします」と申し出ても「あなたがどれほど謝罪しても、やったこと自体は悪であり、罪でしょう」と言われ、謝罪を拒否され、指摘されたとき反論は困難です。

もちろん、日本にも世界中のどこにでも法律があり、「悪である行為、犯罪を行ったものは裁かれる」のが世界全体のルールになっています。

もちろん、どれほどルールがあっても許されない行為、犯罪があり、また、立場が対立することからの敵対行為があります。その中に国家対立、連合的対立の戦争があり、許されがたい「罪悪」として世界中での争いがあります。

いうまでもなく、戦争を防止するための様々な組織や、具体的活動が現に世界中を対象として活動し、実力行使を様々な段階で行っていますが。現在ほとんどの国家連合、領域や、流動的全世界的対応も決定的な段階への防止は、「完全」とはあまりにもかけ離れています。「万物の終わり」はすべてが『愛』と見ることができます。

けれど、一方で、ペトロの言葉は「キリスト者に向けられた歴史的な言葉」です。そして、この手紙が記されたのは参考文献によると紀元64年頃と見られます。

この年代はローマ帝国が地中海沿岸に追放されたイスラエル人を対象にしてますます過酷な迫害を行う方向に動き出す時期です。そして迫害はコンスタンティヌス大帝とリキニウス帝の「ミラノ勅令」(紀元313年)まで続けられるのです。

歴史的背景から言えるのは、むしろ、イスラエルがユダヤ戦争に敗れ、国外追放というローマ帝国の歴史でもそれほどは見られない過酷な処置が長期間にわたって、いいえ、実際になされた時期で240年近くにわたります。

ペトロがこの書簡に記した「万物の終わり」は、この歴史からするとローマ帝国政府の立場に立った「キリスト教徒の終わり」と見することもできます。ペトロの長い年月に及んだ迫害・受難の年月はどれほど過酷だったでしょう。

主イエスと一緒に宣教し、ファリサイ派や祭司とエルサレムで対立した十二弟子の中でも分かれて活動しなければならなかったペトロは、それぞれの地域で「家の教会」を築き、迫害されながら愛の福音を人々に告げて歩きました。

ますます厳しさを増すローマ官憲の暴虐と、



敵視するユダヤ教の残党との軋轢は、当時、年を追って苦しい状況になったと見て不思議はありません。

ペトロ自身が手紙の中で「**7**万物の終わりが迫っています。」とつい漏らした背景は、樂觀が許されない切迫した現実をあらわにしています。

けれども、ペトロはこの状況をはねのける力強さをおもてに出し、「**8**何よりもまず、心を込めて愛し合いなさい。」と、周りの小教会に手紙で指示した事実は、より苦しい状況のただなかで、ペトロ自身が「神様の愛」、「主イエス・キリストの愛」を深く心に覚え、これを「万物の終わり」を思うとき勝利を信じ切って動かない信仰がまざまざと浮かびあがっています。

ペトロの手紙— 4章9～11節

9不平を言わずにもてなし合いなさい。**10**あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。**11**語る者は、神の言葉を語るにふさわしく語りなさい。奉仕をする人は、神がお与えになった力に応じて奉仕しなさい。それは、すべてのことにおいて、イエス・キリストを通して、神が栄光をお受けになるためです。栄光と力が、世々限りなく神にありますように、アーメン。

お祈りいたします。

天におられる神様、どうぞわたしたちをなお生かして御用い下さい。わたしたちは日本という国に住み、あなたを主なる神様として信じています。

わたしたちの国日本をどのように進め、あなたの御心に従うかはわたしたち自身に与えられた務めです。わたしたちはこの日本を「イエス・キリストの父なる神様を信じて、従う国」になりますようお祈りしています。けれども、わたしたちの信仰はまだまだ乏しく、弱いことをあなたはご存知です。

わたしたちは、「自分自身の信仰を強めてください」とさえ中々祈れないものです。

どうか、世の終わりが近づく前に、わたしたちの信仰を強め、堅い信仰を与えてください。

わたしたちが、わたしたちの国に対してさえも必要なことを求めず、政府官僚のしたいままに国を動かしているのを、ただただ眺め、「成り行きに任せます」と、言うべきことをさえ言わない弱さ、愚かしさを痛く思います。

わたしたちキリスト者は、神さま、あなたを柱にしてこの国に『愛、あなたからいただいている愛』をもたらすための政治や政策を掲げる政党さえ立てようとは考えません。

父なる神様、わたしたちはドイツなどキリスト教を信じる国民が、あなたを柱とする「キリスト教民主党」を立ち上げ、支持して少しでもあなたの御心を、愛を、具体化し、原子力発電所を止めさせたことを知っています。このような在り方をこの、わたしたちの国日本でも実現させてください。

わたしたちの世界が『万物の終わり』を迎えるとき、この日本にも愛が根づき、あなたの御心が求められる国になさして下さい。

父なる神様、この祈りが自分勝手な、願いの祈りであるを知っています。どうかお許しください。そして、あなたを信じる者に勇気を与え、信じる者があなたの愛によって少しでもこの日本を動かす働きのある国になさして下さい。

豊橋東田教会牧師であるわたし、力も勇気も乏しいキリスト者の祈りです。

どうか御支え下さい。御力をお与えください。キリスト教会に集うわたしたちが世の人々に公に声をかける勇気と力とをお与えください。わたしたちの主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

讃美歌(21) 476 「あめなるよろこび」

聖書の言葉はすべて以下から引用しています。
 聖書 新共同訳：
 (c) 共同訳聖書実行委員会
 Executive Committee of The Common Bible Translation
 (c) 日本聖書協会
 Japan Bible Society, Tokyo 1987, 1988